

会計名		刈谷の魅力発信事業				担当部	企画財政部		
一般会計						担当課	企画政策課		
款	項					目	担当係	経営管理係	
2	1					2		政策推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進						
		基本施策	情報共有						
		施策の内容	広報・広聴の充実						
	目的	刈谷が持つ地域資源の魅力を市内外へ発信し、住みたい、住み続けたい、訪れてみたいまちを目指し、定住人口の増加へ繋げる。			主たる内容	○市内外イベントでの魅力発信 ○水野家ゆかりのまちとの交流 ○無料Wi-Fi環境整備及び提供 ○シティセールスの調査研究			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成26年度～			
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントでの魅力発信 5回</li> <li>水野家ゆかりのまち交流 福山市、新宮市、結城市 延べ4回</li> <li>魅力啓発用被服販売</li> <li>無料Wi-Fi整備 公共施設3施設（4箇所）設置</li> <li>無料Wi-Fi提供</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントでの魅力発信 2回</li> <li>水野家ゆかりのまち交流 中止</li> <li>魅力啓発用被服販売</li> <li>無料Wi-Fi提供</li> <li>市制施行70周年事業PR</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントでの魅力発信 2回</li> <li>水野家ゆかりのまち交流 中止</li> <li>魅力啓発用被服販売</li> <li>無料Wi-Fi提供</li> <li>市制施行70周年プラス1事業 プロジェクションマッピング開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントでの魅力発信 5回</li> <li>ふるさと納税の推進（R3繰越分）</li> <li>市制施行70周年プラス1事業 プロジェクションマッピング開催</li> <li>キャリアンブレラ開催</li> </ul>	
成果		無料Wi-Fiを提供することで、公共施設利用者の利便性が向上したことや、市の情報を発信したことなどにより、本市の魅力の向上に繋げることができた。また、刈谷ハイウェイオアシスでは、市制施行70周年プラス1事業としてプロジェクションマッピングを実施し、市内外を問わず多くの方に本市の魅力を発信することができた。							
課題		新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、イベントでの魅力発信、水野家ゆかりのまち交流等が予定どおり実施できなかった。個々に蓄積したノウハウの共有や、様々な魅力の掛け合わせなどが効果的であることから、部署間の連携体制を強化していく必要がある。また市内向け・市外向けというような、よりターゲットを絞った魅力発信をしていく必要がある。							
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値	
活動指標	イベントでの魅力発信回数（回）		元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
成果指標	これからも刈谷市に住み続けたいと思っている市民の割合（%）		5	2	2	5	5		
他市との比較検証	【無料Wi-Fi整備済みの周辺自治体】 安城市、東浦町、西尾市								
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度 事業費内訳		
	事業費 ①		2,804	1,516	1,528	53,728	合計 1,527,727 円		
	財源	特定財源	94	5	5	46,451	旅費	2,850 円	
		一般財源	2,710	1,511	1,523	7,277	需用費	94,297 円	
	職員人件費 ②		2,310	1,867	3,407	6,439	委託料	179,220 円	
	総事業費（①+②）		5,114	3,383	4,935	60,167	使用料及び賃借料	1,251,360 円	
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
	3年度までの累積事業費		0		消耗品売上収入				
	5年度以降の事業費見込		0						

会計名			刈谷の魅力発信事業	担当部	企画財政部
一般会計				担当課	企画政策課
款	項	目		担当係	経営管理係
2	1	2			政策推進係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	個々の事業の啓発ではなく、行政サービスの様々な分野を横串した情報を市内外へ発信でき、本市の持っている多くの魅力をトータルで啓発できる事業である。また、目的が定住促進であることから、選ばれるまちを目指した活動として必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		普通	本市の人口の社会移動について、子育て世帯が転出傾向であることから、参加するイベントは、子育て世帯の参加が見込まれるものに絞り、効果的な執行体制としている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	まずは市が主体となって情報発信すべきであるが、様々な人々や企業などと推進していくことが重要であり、愛着が高まってくれば、市民自らがその魅力を発信することが期待できる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	定住人口や交流人口の増加が促進されれば、市民が元気で地域がにぎわい、将来にわたり持続可能で、発展できるまちとなり、市民サービスの質も向上する。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
引き続き、本市の持つ魅力を磨き上げ、情報を広く知らしめることに加えて、情報を受けた人に魅力を感じてもらい、「住む」「訪れる」「魅力を他の人に推奨する」など具体的な行動に移してもらえるような効果的な発信・取組を検討していく必要がある。					

会計名			衣浦定住自立圏連携事業				担当部	企画財政部	
一般会計							担当課	企画政策課	
款	項	目					担当係	政策推進係	
2	1	10							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	計画推進						
		基本施策	行政経営						
		施策の内容	広域行政・広域連携の推進						
	目的	知立市、高浜市及び東浦町とで形成する衣浦定住自立圏の中心市として関係市町と連携し、圏域全体の安心感や利便性の向上を図るとともに、相互のつながりを強め、郷土への誇りを創出し、豊かに暮らすことができる地域づくりを進める。			主たる内容	○衣浦定住自立圏共生ビジョンの進捗管理及び更新 ○衣浦定住自立圏講演会の開催 ○ホームページによる情報発信			
	位置づけ	関連計画	衣浦定住自立圏共生ビジョン						
		根拠法令	定住自立圏構想推進要綱						
		対象者	市民、圏域住民		事業期間	平成24年度～			
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 実施	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・衣浦定住自立圏共生ビジョン懇談会の実施 ・衣浦定住自立圏推進講演会の実施 ・ホームページによる情報発信 ・次期共生ビジョンの策定に向けた新規事業の検討及び既存事業の検証		・衣浦定住自立圏共生ビジョン懇談会の実施 ・衣浦定住自立圏推進講演会の実施 中止 ・ホームページによる情報発信 ・関係市町との協定締結に向けた調整 ・次期共生ビジョンの策定に向けた事業の検討		・衣浦定住自立圏共生ビジョン懇談会の実施 ・衣浦定住自立圏推進講演会の実施 ・ホームページによる情報発信 ・関係市町との協定締結 ・第2次共生ビジョンの策定		・衣浦定住自立圏共生ビジョン懇談会の実施 ・衣浦定住自立圏推進講演会の実施 ・ホームページによる情報発信	
成果		協定期間終了に伴い、関係市町と協定の再締結を行った。 第2次共生ビジョンを策定した。 衣浦定住自立圏域の各自治体がコロナ禍を経て目指すべき自治体のあり方について考えるきっかけとするため、「稼ぐ公民連携が地域を変える」をテーマに講演会を開催した。							
課題		圏域全体の安心感や魅力の向上を図るため、定住自立圏における新たな取組を検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標		衣浦定住自立圏共生ビジョン懇談会開催回数（回）			5	3	4	3	3
成果指標		第2次衣浦定住自立圏共生ビジョンに掲げる事業実施率（%）			—	—	88.9	92.6	100.0
他市との比較検証		西尾市定住自立圏共生ビジョン 5事業 南信州定住自立圏共生ビジョン 41事業 みのかも定住自立圏共生ビジョン 21事業							
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		251	0	385	438	合計	385,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	385,000 円	
		一般財源	251	0	385	438			
	職員人件費 ②		1,232	1,941	946	1,098			
	総事業費（①+②）		1,483	1,941	1,331	1,536			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名			衣浦定住自立圏連携事業	担当部	企画財政部
一般会計				担当課	企画政策課
款	項	目		担当係	政策推進係
2	1	10			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	<p>少子高齢化、人口減少などの社会状況下において、すべての市町村がフルセットの生活機能を確認することは困難である。そうした状況の中で広域連携は、本市と構成市町が役割分担し生活に必要な都市機能を確認するとともに、生活利便性や地域の魅力の向上を図る有効な手段である。</p> <p>本市は、圏域の中心市であることから、職員の負担が構成市町と比較して大きくなった。しかし、圏域で事業を推進することで、本市のみでなく圏域で費用を分担することもでき、一定の効果を上げることができた。</p>
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	<p>定住自立圏構想では、市のみでなく民間事業者も主体となって事業を推進することが望まれる。また、総合計画との整合性については、生活に必要な機能の共同処理や機能分担を実施し、圏域全体の利便性の向上や魅力の創出を図る施策と位置づけられている。</p> <p>総合計画に掲げる「広域で共同又は連携している事業数」の目標値に到達する取組を実施できている。一方で、市民サービスへの効果については、事業を実施する中で把握する必要がある。</p>
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
衣浦定住画自立圏共生ビジョンに掲げる取組を着実に推進するため、引き続き、構成市町と協議を進めていく。 衣浦定住自立圏の魅力や取組を広く発信することで、圏域内の定住促進を図る。					

会計名		都市施設管理協会運営委託事業				担当部	企画財政部		
一般会計						担当課	企画政策課		
款	項					目	担当係	経営管理係	
2	1					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進						
		基本施策	行政経営						
		施策の内容	効率的な行政運営						
	目的	市が設置し、又は運営する施設の目的を効果的に達成し、市の発展と市民の福祉増進に寄与する。	主たる内容	○都市施設管理協会との連絡・調整 予算・決算管理、資産管理 職員の雇用に関する業務全般 規約等の制定、改廃事務  ○都市施設管理協会事務局の運営に関する業務委託 事務所施設の管理 役員・監査員等の報酬 臨時職員の雇用					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	都市施設管理協会が管理する施設	事業期間	平成14年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・都市施設管理協会運営等委託内訳 事務局の運営管理 役員・監査員の報酬 臨時職員の雇用3人		・都市施設管理協会運営等委託内訳 事務局の運営管理 役員・監査員の報酬 臨時職員の雇用5人		・都市施設管理協会運営等委託内訳 事務局の運営管理 役員・監査員の報酬 臨時職員の雇用5人		・都市施設管理協会運営等委託内訳 事務局の運営管理 役員・監査員の報酬 臨時職員の雇用5人	
成果		公共施設に関する知識、経験を有する高齢者の活用により、安定した施設管理を行っているとともに、高齢者雇用の創出という政策効果及び経費節減に貢献した。							
課題		適正かつ効果的な業務運営を実施していくために、都市施設管理協会の業務内容や体制の見直しを行い、更なる改善を図っていく必要がある。							
	指標名称（単位）			実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標	都市施設管理協会が管理する施設数（施設）			24	23	23	23	23	
指標									
	他市との比較検証	岡崎市：一般財団法人岡崎パブリックサービス 豊田市：公益財団法人豊田市文化振興財団 西尾市：西尾市都市施設管理協会							
C 事業 コスト V	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		29,796	21,243	21,303	27,955	合計	21,302,617 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	21,302,617 円	
		一般財源	29,796	21,243	21,303	27,955			
	職員人件費 ②		15,557	15,082	15,292	15,302			
	総事業費（①+②）		45,353	36,325	36,595	43,257			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名			広域行政事業				担当部	企画財政部	
一般会計							担当課	企画政策課	
款	項	目					担当係	政策推進係	
2	1	10							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	計画推進						
		基本施策	行政経営						
	施策の内容	広域行政・広域連携の推進							
	目的	碧南市、安城市、知立市及び高浜市と連携を図りながら、高度化・多様化する市民ニーズへの対応や行財政の効率化を目指す。	主たる内容	○衣浦東部広域行政圏協議会における広域課題の検討、行政圏計画の推進 ○コミュニティFM番組の制作					
	位置づけ	関連計画	衣浦東部広域連携推進ビジョン（第4次広域行政圏計画）						
		根拠法令	衣浦東部広域行政圏協議会規約						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	～				
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 ■その他						
	B事業実績 D実績 O実績 A実施	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>衣浦東部広域行政圏協議会負担金 62,100円</li> <li>コミュニティFM番組制作負担金 7,502,361円</li> <li>検討課題協議（協議会・幹事会・担当者会）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>衣浦東部広域行政圏協議会負担金 60,900円</li> <li>コミュニティFM番組制作負担金 7,570,981円</li> <li>検討課題協議（協議会・幹事会・担当者会）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>衣浦東部広域行政圏協議会負担金 189,400円</li> <li>コミュニティFM番組制作負担金 7,570,981円</li> <li>検討課題協議（協議会・幹事会・担当者会）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>衣浦東部広域行政圏協議会負担金 56,300円</li> <li>コミュニティFM番組制作負担金 7,584,185円</li> <li>検討課題協議（協議会・幹事会・担当者会）</li> </ul>	
成果		コミュニティFM番組制作を通じ、市政情報の発信や地域のニュース・トピックスを届けることによる地域の活性化、まちづくりに貢献した。							
課題		市民のコミュニティFMに対する認知度を向上させる方法を検討する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標	衣浦東部地区を中心に広域で共同又は連携している事業数（事業）		10	10	10	10	10		
成果指標	効率的な行政運営が行われていると思う市民の割合（%）		—	58.5	—	60	60		
他市との比較検証	コミュニティFM番組制作負担金（令和3年度予算） 碧南市 5,514,858円、安城市 9,854,500円、知立市 4,550,494円 （衣浦東部広域行政圏協議会処務規定に基づき、均等割、人口割、面積割で算出）								
C事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		7,569	7,632	7,760	7,649	合計 7,760,381 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 7,760,381 円		
		一般財源	7,569	7,632	7,760	7,649			
	職員人件費 ②		770	187	454	606			
	総事業費（①+②）		8,339	7,819	8,214	8,255			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							